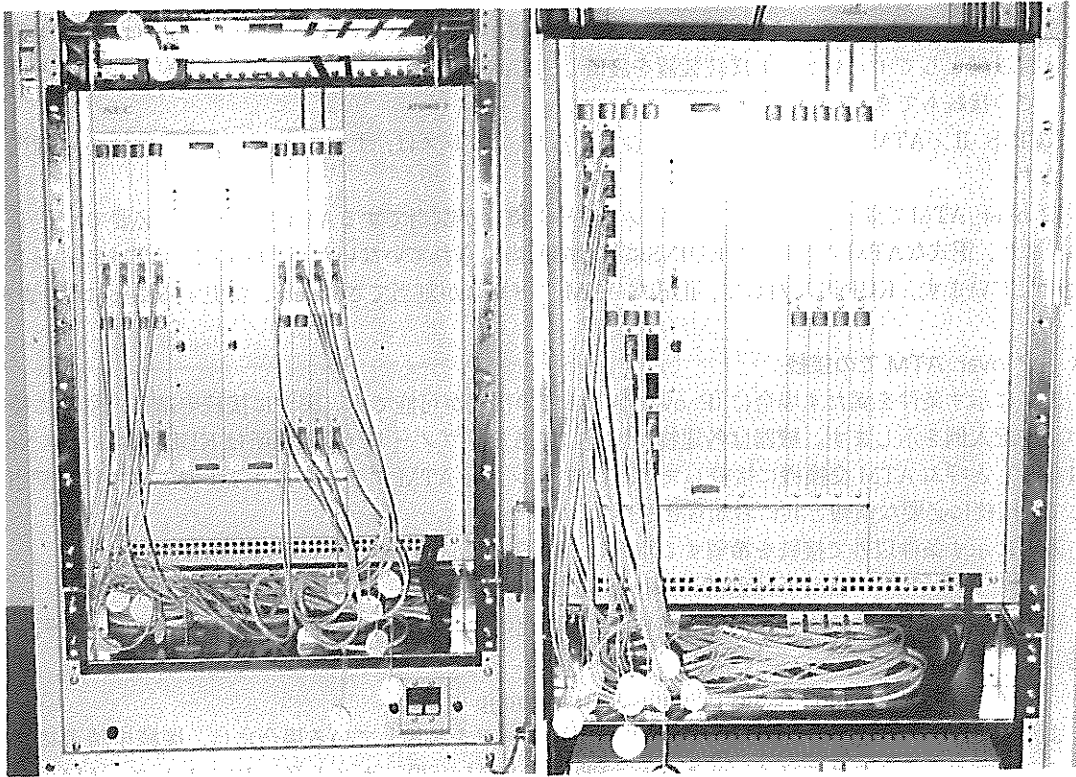


# KUINS ニュース No. 22

京都大学学術情報ネットワーク機構



超高速情報ネットワークの基幹ノード(左側)とノード(右側)

## 目 次

超高速情報ネットワークシステムの運用について .....	196
ワークステーションを ATM につないでみよう .....	200
プライベート IP アドレスの使用について .....	205
吉田地区構内電話交換機の ISDN 化について .....	205
京都大学の Home Page について .....	206
第 4 回京都大学高度情報化フォーラムの開催について .....	206
IP アドレス変更資料の更新について .....	207
お願い .....	207
1995 年度ターミナルサーバ接続統計 .....	208
KUINS 会議日誌 .....	209
KUINS 関連メールアドレス一覧 .....	210

## 超高速情報ネットワークシステムの運用について

### 1 はじめに

平成7年度補正予算で整備した超高速情報ネットワークシステム（以下KUINS II/ATM）の運用および計算機等を接続する場合の手続きについて説明します。

### 2 運用方針

基本的に KUINS II/ATM では、IP over ATM という通信プロトコルによる機器の接続を受け付けます。

また、従来の KUINS 基幹ループ LAN のノード装置が設置されていない建物の一部には、ノード装置の代替設備としてイーサネット接続装置を設置し、LAN エミュレーション（ELAN とも言う）という方式での接続もできるようにします。

KUINS II/ATM に接続される機器に設定する IP アドレスは、すべてネットワーク機構から割当てします。

IP over ATM で接続する場合には、ネットワーク機構が割当てする ATM アドレスも必要です。しかし、まだ、正式な ATM アドレスが KUINS に対して割当てられていないため、暫定的な ATM アドレスを使用しています。KUINS に対して、正式な ATM アドレスが割当てされ次第、変更することになります。

### 3 IP over ATM での接続

表1に示す条件を満たす場合に IP over ATM での接続が可能です。図1に接続申請書、図2に接続申請書記入例を示します。機器は各建物に設置してあるハブノード（設置場所は KUINS ニュース No. 21 参照）と呼ぶ ATM 交換機に接続します。IP アドレスと ATM アドレスはネットワーク機構で割当てして、接続に必要な情報と共にお知らせします。

表1に示す条件以外で接続を希望する場合は、電子メールで次のアドレス宛ご相談願います。

atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp

電子メールで申請する場合は、次のアドレス宛に空のメールを送ると自動的に申請様式と記入例を返送します。

ipoa-request@kuins.kyoto-u.ac.jp

また、1台の計算機等で、複数のネットワーク用ボードを装備している場合には、接続申請書に装備するインタフェースの種類（イーサネット、FDDI、ATMの別）、ホスト名、IPアドレス、MACアドレス等を記入してください。そして、RIPなどのルーティング情報を流さないでください。

表1 KUINS II/ATMでのIP over ATMの接続条件

	項 目	条 件
1	通信プロトコル	IP over ATMによるTCP/IP
2	MTU サイズ	9180バイト
3	UNI のバージョン	UNI 3.1
4	接続形態	SVC
5	ILMI 機能	有
6	接続インタフェース	155Mbps MMFまたはUPT5
7	VPI/VCI のビット幅	VPI: 0ビット / VCI: 10ビット

#### 4 LANエミュレーションでの接続

LANエミュレーション（以下ELAN）は、イーサネット接続装置（設置場所は表2参照）に、イーサネットインタフェースを装備する機器をツイストペアケーブルで接続できます。イーサネット接続装置は、幹線側はATMインタフェース、端末側は10 base Tイーサネットインタフェースで通信できる装置です。

ELANでの通信は見かけ上はイーサネットでの通信と同じですが、最初にELANサーバに通信相手の所在を確認してから通信を開始します。

また、基幹ループLANにつながった機器とのIPの通信ができますが、ルータを経由することになるので、表2に示すルータ（デフォルトゲートウェイ）のアドレスを機器に設定しなければなりません。

ELANでの接続申請は、従来のワークステーション接続届のIPアドレス欄を空白にして、どのELANにつながりかを記入して申請してください。

電子メールでの申請は、

`ws-request@kuins.kyoto-u.ac.jp`

宛にメールを出すと申請様式が返送されます。記入例に従って記入項目を埋め、IPアドレスは空白、その他にELAN名を記入し、

`atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp`

に送ってください。IPアドレス等接続に必要な情報を返送し、ネームサーバに登録します。

表2 ELAN設置場所一覧

ELAN名	設 置 場 所	ネッ ト マ ス ク ビ ット 長	ネッ ト ワ ー ク ア ド レ ス の 範 圍	ル ー タ の ア ド レ ス
elan1-1	理 学 部 極 低 温 実 験 室	26	130.54.248. 0~248. 63	130.54.248. 62
elan2-3	大 型 計 算 機 セ ン タ ー	26	130.54.253. 0~253. 63	130.54.253. 62
elan3-1	事 務 局 本 館 1 階	26	130.54.248.192~248.255	130.54.248.254
elan3-2	事 務 局 本 館 2 階	26	130.54.249. 0~249. 63	130.54.249. 62
elan3-3	工 学 部 機 械 系 実 習 工 場	26	130.54.249. 64~249.127	130.54.249.126
elan3-4	附 属 図 書 館	26	130.54.253. 64~253.127	130.54.253.126
elan4-1	人 間 ・ 環 境 学 研 究 科	22	130.54.246. 0~247.255	130.54.247.254
elan4-2	高 等 教 育 教 授 シ ス テ ム 開 発 セ ン タ ー	26	130.54.249.192~249.255	130.54.249.254
elan5-1	放 射 線 生 物 研 究 セ ン タ ー	26	130.54.250. 0~250. 63	130.54.250. 62
elan5-2	医 学 部 解 剖 学 新 館	26	130.54.250. 64~250.127	130.54.250.126
elan5-3	医 学 部 総 合 解 剖 セ ン タ ー	26	130.54.250.128~250.191	130.54.250.190
elan7-1	附 属 病 院 西 病 棟	26	130.54.250.192~250.255	130.54.250.254
elanu-2	ヘリオトロンD実験棟	26	130.54.251. 64~251.127	130.54.251.126
elanu-3	プラズマエネルギー 直接変換実験棟	26	130.54.251.128~251.191	130.54.251.190
elanu-4	新食品素材製造実験室	26	130.54.251.192~251.255	130.54.251.254
elanu-5	境界層風洞実験室	26	130.54.252. 0~252. 63	130.54.252. 62
elank-1	原子炉実験所研究棟	26	130.54.127. 0~127. 63	130.54.127. 62
elani-1	霊長類研究所研究棟	26	130.54.127. 64~127.127	130.54.127.126
elano-1	生態学研究センター	26	130.54.127.128~127.191	130.54.127.190

## IP over ATM 接続申請書

学術情報ネットワーク機構 殿

IP over ATM方式でネットワークに機器を接続したいので申請します。

届出者	職 名		氏 名		
	所 属				
	T E L			F A X	
	E-mail				
設置場所（部局，建物，階，室）					
ハブノード番号（例：H5-2-3）		H	-	-	
インタフェース（いずれかに○を）		MMF ， UTP5			
ATMボードのMACアドレス		:	:	:	:
ホスト名（ドメイン形式）					
ATM ボード メーカー名					
本体装置の製品名・型式・OS					
すでに KUINS に 接続されている場合	ホスト名（ドメイン形式）				
	I P ア ド レ ス		.	.	.

## ※学術情報ネットワーク機構記入欄

arpサーバへの登録が完了しました。次の情報を本体装置に設定し，接続して下さい。

ATMアドレス			
IPアドレス	.	.	.
ネットマスク長	ビット	接続ポート番号	
ブロードキャストアドレス	.	.	.
デフォルトゲートウェイのIPアドレス	.	.	.
arpサーバのATMアドレス			
arpサーバへの登録日	年	月	日

[IP over ATM ver 1.0]

図1 IP over ATM 接続申請書

96年 5月 23日

## IP over ATM接続申請書

学術情報ネットワーク機構 殿

IP over ATM方式でネットワークに機器を接続したいので申請します。

届出者	職名	技官	氏名	石橋 由子
	所属	大型計算機センター		
	TEL	753-7432	FAX	753-7450
	E-mail	yeshike@kudpc.kyoto-u.ac.jp		
設置場所(部局、建物、階、室)		大型計算機センター 2階 端末室		
ハブノード番号(例: H5-2-3)		H2-1-1		
インタフェース(いずれかに○を)		MMF、UTP5		
ATMボードのMACアドレス		ac:ac:82:36:92:15		
ホスト名(ドメイン形式)		tulip-atm.kudpc.kyoto-u.ac.jp		
ATMボードメーカー名		Adaptec社		
本体装置の製品名・型式・OS		SUN IPX Solaris 2.5		
すでにKUINSに 接続されている場合	ホスト名(ドメイン形式)	tulip.kudpc.kyoto-u.ac.jp		
	IPアドレス	130.54.8.24		

※学術情報ネットワーク機構 記入欄

arpサーバへの登録が完了しました。次の情報を本体装置に設定し、接続して下さい。

ATMアドレス			
39:39:2f:00:00:00:00:00:00:00:00:00:41:f0:ac:ac:82:36:92:15:00			
IPアドレス	130 . . 54 . 143 . 120		
ネットマスク長	21 ビット	接続ポート番号	8
ブロードキャストアドレス	130 . 54 . 143 . 255		
デフォルトゲートウェイのIPアドレス	130 . 54 . 143 . 254		
arpサーバのATMアドレス			
39:39:2f:00:00:00:00:00:00:00:00:00:41:00:00:00:4c:a1:57:44:0e			
arpサーバへの登録日	96年 5月 24日		

(IP over ATM ver 1.0)

図2 IP over ATM接続申請書 記入例

## 5 おわりに

ATMネットワークに関しては、標準化がまだできていない部分があり、未完成の感がありますが、KUINS II/ATMでは将来の標準化には対応していく予定です。

また、ATM接続用の製品もまだ種類が少ない状態ですが、接続が確認できた製品に関する情報は順次公開する予定です。

接続に関する問い合わせは、atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp 宛、電子メールでお願いいたします。

## ワークステーションを ATM につないでみよう

### 1 はじめに

ATMと言われても何のことかさっぱりわからなかった私ですが、いつまでも知らぬ存ぜぬと言っ  
られない雰囲気になり、“ATM フォーラム”翌日の5月22日、やっと重い腰を上げました。

用意したものは次の2つです。

ワークステーション	SUN IPX ・ Soralis 2.5
ATM ボード	Adaptec社製 ANA-5240

ATM ボードとはいわゆる NIC カードのことで、どんな製品でもいいというわけではありません。前  
回の KUINS ニュース (No.21 p186-p187) に「3.1NIC 購入のポイント」で詳しく書かれていますが、  
ここでも簡単におさらいしておきます。

- ・155Mbps用であること
- ・UNI 3.1 をサポートしていること
- ・シェーピング機能があること
- ・IP over ATM (SVC) をサポートしていること
- ・ATMARP に対応していること

残念ながら、上の条件を全て満たしたからといって必ずしも通信できるとは限らないようです (この  
へんが難しいですね)。

### 2 ATM ボードをインストール

ATM ボードを購入したときにくっついてきた User's Reference を見ながらインストールを行いました。

ワークステーションの電源を OFF にした後、本体のカバーをはずして ATM ボードをきちんと固定し  
カバーを元にもどせばいいわけですが、バックパネルのはずし方や ATM ボードのセットの仕方はワー  
クステーションの機種により少し違ってきます。このへんのこと User's Reference に図で詳しく説  
明されていますので省略します。

### 3 ケーブルをつなぐ

ケーブルも何でもいいというわけではなく、一部接続できないものもあるようです。これについては  
前回の KUINS ニュース (No.21 p187-p188) の「3.2 接続用光ファイバ購入のポイント」に書かれてい  
ます。

ケーブルには、マルチモード光ファイバケーブル (MMF) と、カテゴリ 5 ツイストペアケーブル  
(UTP5) の 2 種類あります。これについても前回の KUINS ニュース (No.21 p186) の「2 ハブノード

の構成」に書かれています。今回は MMF を使いました。ケーブルの両端とも、送信(TX)と受信(RX)が別れている(図3, 4参照)ので、どっちをどっちにつないだらいいのかわからず適当にやってみたのですが、当然のことながらちゃんとつながりませんでした。正解はこれでした。



このへんのところも User's Reference にちゃんと書いてあります。ここまで正常にできたら、ワークステーションを立ち上げます。

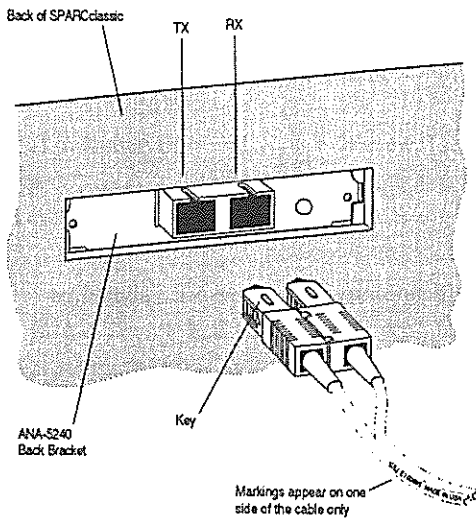


図3 MMFをATMにつなぐ

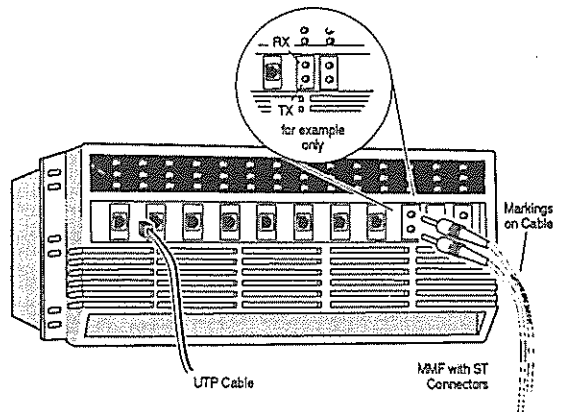


図4 MMFをハブノードにつなぐ

#### 4 ドライバを取ってくる

ATM ボードを買ったときにいっしょにドライバもついてくるのですが、後でバグがあるのがわかり、これは使わずにファイル転送により入手しました。最新版はここにあります。

`ftp://ftp.adaptec.com/pub/BBS/ATM_Technology/Solaris/`

このドライバは Solaris 2.3, 2.4, 2.5 に対応しています。

#### 5 ドライバのインストール (その1)

既に古いドライバをインストールしている場合や失敗して最初からやり直す場合は、`pkgrm` コマンドを入力して一連のソフトウェアを削除しておきます。

ドライバは、`/etc/opt` にインストールされます(約10Mbyte)が、ディスク容量などの都合により困難な場合は、`/tekitou` にインストールし、`/etc/opt` からシンボリックリンクを張っておくといでしょう。

```
In -s /tekitou /etc/opt
```

User's Reference にしたがって、コマンドを入力しながらドライバをインストールしていくわけで

すが、この段階で、ATM側のIPアドレスやATMアドレスが必要となります。これは、『IP over ATM 接続申請書』を提出すると教えてもらえます。

## 6 『IP over ATM 接続申請書』の提出

図2 (p199)は接続申請書の記入例です。記入するのは上半分で、下半分は学術情報ネットワーク機構で記入して届出者の手元にもどってきます。接続申請書の提出は紙でもメールでもOKです。メールの場合は、

atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp

に提出します。

## 7 ドライバのインストール (その2)

接続申請書の下半分が記入されて手元にもどってきた時点で、必要な情報が全部そろったこととなります。ここからが実際のインストールの始まりです。

User's Reference の4章 Installing and Using ATM Software にインストール方法が書かれていますが、この部分に関しては修正版がオンラインで入手できます。かなり内容が新しくなっていますので、こちらを参照されることをおすすめします。ちなみにファイルはポストスクリプト形式で書かれています。修正版はここにあります。

ftp://ftp.adaptec.com/pub/BBS/ATM\_Technology/WindowsNT/sbus-4.ps

修正版の User's Reference にしたがって各種ドライバをインストールしていきます。ここが最大の山場とビクビクしていたのですが、質問に答えるだけで思ったほど難しくはなかったです。例えば次のようなことを聞かれました。

- arp サーバの ATM アドレスは？
- ワークステーションの IPアドレスは？ ATM アドレスは？
- SVC or PVC ? (SVC と答える)

KUINS は UNI 3.1 でないとながりがませんが、このドライバは 3.0 を前提にしていますので、次の部分を書き直す必要があります。

/etc/opt/ADPTaatm/bin/base.db の

```
:zone= signal
:= version 30
:.
:-
```

というところを

```
:zone= signal
:= version 31
:= saalversion 31
:.
:-
```

とします。これですべての設定は終了です。



## 8 GUI でもインストールできます

EZ-ATM というドライバがあります。これは、各種ドライバの設定をGUIで行うためのもので、これがあればより簡単に設定が行えます(図5参照)。お好みでインストールしてみてください。

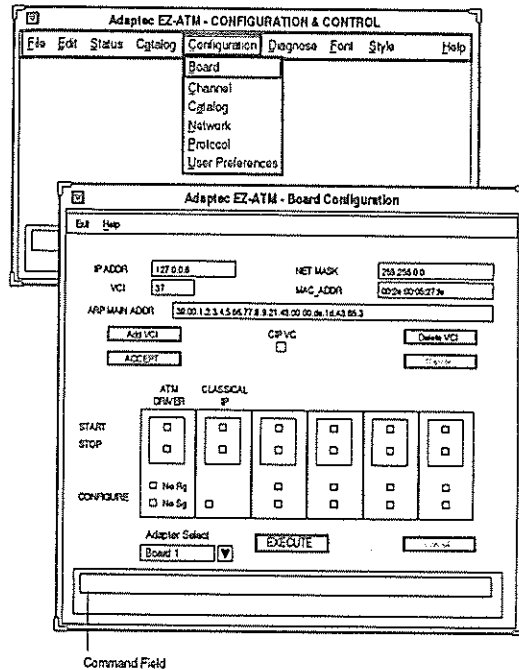


図5 EZ-ATM を使って ATM ドライバを設定

User's Reference にしたがって EZ-ATM をインストールし起動すると、

```
ld.so.1:ezAtm:fatal:libMrm.so.2: can't open file:errno=2 killed
```

とエラーが出ます。これは、ライブラリが見つからないためで、

```
cd /etc/opt/ADPTEzlib
```

```
ln -s libXm.so libXm.so.2
```

```
ln -s libMrm.so libMrm.so.2
```

とすると回避できます。このへんのところは、

```
http://www.adaptec.com/support/atmqna.html
```

に書かれています。

## 9 つないでみよう

設定が無事終了したところで、ちゃんとつながるかどうかテストしてみます。まず、ワークステーションを再立ち上げします。次に ATM ドライバを正確に認識するかどうか確認します。

ifconfig -a を入力するとこのように表示されました。acip0 が ATM ドライバのインタフェース名です。

```
lo0: flags=849<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST> mtu 8232
    inet 127.0.0.1 netmask ff000000
```

```

le0: flags=863<UP,BROADCAST,NOTRAILERS,RUNNING,MULTICAST> mtu 1500
    inet 130.54.8.24 netmask ffff0000 broadcast 130.54.255.255
    ether 8:0:20:d:c2:60
acip0: flags=863<UP,BROADCAST,NOTRAILERS,RUNNING,MULTICAST> mtu 9180
    inet 130.54.143.120 netmask fffff800 broadcast 130.54.143.255
    ether ac:ac:82:36:92:15

```

続いて netstat -i を入力するとこのようになりました。

Name	Mtu	Net/Dest	Address	Ipkts	Ierrs	Opkts	Oerrs	Collis	Queue
lo0	8232	loopback	localhost	74	0	74	0	0	0
le0	1500	130.54.8.24	tulip	0	0	0	6	0	0
acip0	9180	130.54.136.0	130.54.143.120	10164	0	4365	0	0	0

ATM ドライバも認識していますし、表示される情報も正しいですね。いよいよ実際につないでみます。

(1) ATM につながっているマシンに接続してみよう

ATMにつながっているハブノードやノードの状態を監視しているワークステーションが2台あり、いずれも24時間365日動いています。それぞれのIPアドレスは、130.54.144.1と130.54.144.2です。このマシンを相手に接続できるかテストしてみます。

```

% telnet 130.54.144.1
Trying 130.54.144.1...
Connected to 130.54.144.1.
Escape character is '^]'.
SunOS UNIX (sv2)
login:

```

接続 OK です。

(2) 既存の KUINS につながっているマシンに接続してみよう

大型計算機センターの運用マシンに接続してみます。

```

% telnet 130.54.9.11
Trying 130.54.9.11...
Connected to 130.54.9.11.
Escape character is '^]'.
UNIX(r) System V Release 4.0 (sakura)
login:

```

これで無事に ATM に接続できたこととなります (パチパチパチ)。

接続テストをするのに、telnetコマンドを使いました。pingコマンドでもいいのですが、pingの場合は他の誰かが返事をする可能性もありますので、ここでは使いませんでした。SUNのワークステーションならpingコマンドを使ってもいいですね。

## 10 おわりに

できない、わからないの連続でしたが、それでも何とかつながるようになりました。これを読んだ方が「私もやってみたいな、やってみようかな」と思っただけなら幸いです。何か困ったことがあれば、

atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp

までメールを下さい。ここは、ATMに関するあらゆるお問い合わせ窓口です。「こんな初歩的な質問し

たら恥ずかしいし…」と思っておられる方，気になさらないでドンドン質問して下さい。ATM なんて私も含めてほとんどの人が初心者です。みなさんからのいろんな質問を受けていろいろと勉強していきたくと思っていますので，どうぞよろしくお願ひします。

なお，この原稿の執筆にあたり工学研究科応用システム科学専攻応用情報学講座の高崎喜紀さんにご協力いただきました。

## プライベート IPアドレスの使用について

京都大学では、公式のIPネットワークアドレスとして、2つのクラスBアドレス130.54.0.0, 133.3.0.0 およびいくつかのクラスCアドレスを取得し、ネットワーク機構でサブネット単位に分割して割り当てています。

一方、外部との通信を行わない閉じられたネットワークのために、プライベートアドレスを利用することが国際的に認められています (RFC1918)。

このプライベートアドレスの内、

192.168.128.0 から192.168.255.255 まで

のアドレスについては、学内とだけ通信を行うサブLANのためのアドレスと定め、学内では重複利用が起らないようネットワーク機構で管理させて頂くことになりました。

もし、すでにこの範囲のアドレスをご使用になっている場合は、本機構事務室（内線7841）までご相談願ひします。

## 吉田地区構内電話交換機の ISDN 化について

7月20日に吉田地区の構内電話交換機の公衆網との接続が、NTTのアナログの加入電話網から公衆デジタル網のINSネットに変更されました。

この結果、吉田地区の構内電話交換機につながったデジタル通信端末（DAUやB型デジタル電話機のデータポート、ISDN機器）と、学外のINSネットにつながったデジタル通信端末との間で高品質のデジタル通信が可能となりました。

一方、音声やモデムを使ったアナログの通信についてもINSネットを経由しますが、利用方法などは従来通りです。

今回の変更に伴う注意事項は次の2点です。

- (1) 学外のISDN端末から内線のデジタル通信機器に着信する場合、変更以前は利用できたサブアドレス方式が利用できなくなり、DID方式のみとなりました。従って、このような利用をする内線番号をDID登録する必要があります。

(例) サブアドレス方式 (従来)	762-2200 #内線番号 (#はサブアドレスキー)
DID方式	753-内線番号

- (2) 内線のISDN機器から学外のISDN機器にダイヤルする場合、変更以前は130で局線発信しましたが、変更後は通常の内線電話からの発信と同じように0で発信できるようになりました。

(例) 変更前	130-相手電話番号
(例) 変更後	0-相手電話番号

## 京都大学の Home Page について

京都大学の Home Page が去る 6 月 18 日（創立記念日）にリニューアルされました。既に多くの部局でも Home Page が作成され、「京都大学の Home Page」からリンクされています。リンクについては、下記のような要領で運営しています。

### 記

#### (a) 京都大学の Home Page のリンクについて

Home Page にリストアップする学内 WWW サーバは、原則として職員録の目次のゴチックのレベルとします。特例として学術情報ネットワーク機構は独立したものとして扱います。

また、京都大学に密接したネットワークを関連ネットワークとして登録します。

#### (b) 京都大学の Home Page の維持・管理について

大型計算機センターにおいて、維持・管理します。

各部局の Home Page については、各部局で定めて、維持・管理して頂くようお願いいたします。

新規に部局の Home Page を作成した場合は、その URL を [www@kudpc.kyoto-u.ac.jp](http://www@kudpc.kyoto-u.ac.jp) まで電子メールでお知らせください。

## 第 4 回京都大学高度情報化フォーラムの開催について

第 4 回京都大学高度情報化フォーラムが、学術情報システム整備委員会と大型計算機センターの主催で、平成 8 年 5 月 21 日（火）に農学部大講義室において開催されました。

今回は、「ATM 超高速ネットワークシステム」をテーマとし、本学全構成員を対象に、平成 7 年度補正予算で導入された超高速情報ネットワークシステムについて多くの方に知って頂くために開催されたものです。

当日は、学術情報システム整備委員会委員長（大型計算機センター長、堂下修司工学研究科教授）の挨拶のあと、情報スーパーハイウェイの動向や広域 ATM 網実験、ATM LAN 技術に関する講演と、ATM LAN を用いた Video on Demand のデモンストレーションが行われました。続いて学術情報ネットワーク機構より、超高速情報ネットワークシステム KUINS II / ATM の概要と運用方針、接続のための手続きなどについて説明させていただきました。百数十名の参加者を得て活発な質疑応答が行われ、ATM 超高速ネットワークに関する高い関心と強い期待を改めて認識させられました。

## IPアドレス変更資料の更新について

前号にIPアドレス変更資料を掲載しましたが、サブLANの増設およびアドレスの調整等により、一部のサブネットでは次のIPアドレス変更一覧（表3.1～表3.2）のとおりになっています。

表3.1 IPアドレス変更一覧（吉田地区）

ノード番号	ノード設置場所	ルータ番号	ルータのサブネット側IPアドレス	サブネット側のネットワークアドレスの範囲
13	理学部1号館	4	130.54. 49.254	130.54. 49. 0 ～ 49.255
43	理学部2号館	2	130.54. 106.254	130.54. 106. 0 ～ 106.255
19	工学部2号館	* 3	130.54. 18.126	130.54. 18. 0 ～ 18.127
			130.54. 18.254	130.54. 18.128 ～ 18.255
			130.54. 19.126	130.54. 19. 0 ～ 19.127
			130.54. 19.254	130.54. 19.128 ～ 19.255
11	農学部	1	130.54. 62.254	130.54. 62. 0 ～ 63.255
33	農学部	1	130.54. 64.254	130.54. 64. 0 ～ 64.255

注) \* はFDDI用ネットワーク。

表3.2 IPアドレス変更一覧（吉田地区、宇治地区以外）

部	局	ルータのサブネット側IPアドレス	サブネット側のネットワークアドレスの範囲
防災研究所	附属桜島火山観測所	130.54. 113. 1	130.54. 113. 0 ～ 113. 63

### お 願 い

京都大学に割当てられたIPアドレスが不足気味になってきました。ワークステーションやパソコンを購入された時使用しなくなった機器のIPアドレスの再利用をお願いします。ホスト名とIPアドレスをそのまま流用する場合は「ワークステーション接続届」の届出者、ホスト名、IPアドレス及び変更のあった項目のみを記入して提出して下さい。なお、メールで提出する場合はSTATUSをMODIFYにして下さい。

ワークステーションやパソコンをイーサネットケーブルに接続した場合、必ず「ワークステーション接続届」をKUINSネットワーク機構まで、電子メール又は、届出用紙で提出してください。

なお、対象範囲は、吉田地区、宇治地区、熊取地区、犬山地区、信楽地区、大津地区です。

問合せ先

学術情報ネットワーク機構情報システム管理掛（753-7841）  
（大型計算機センターネットワーク掛（753-7432））

## 1995年ターミナルサーバー接続統計

設置地区	回線種別	ボード	接続回数	接続時間
吉田	アナログ	tty01	24,453	3902:03:35
		tty02	15,429	1774:08:45
		tty03	8,251	1095:38:43
		tty04	2,681	497:58:01
		tty05	965	161:13:02
		tty06	496	107:17:06
		回線別合計	52,275	7538:19:12
吉田	デジタル	tty07	2,519	2796:44:13
		tty08	2,796	2755:52:15
		tty09	1,807	3109:41:28
		tty10	1,360	2825:18:59
		tty11	1,277	927:20:43
		tty12	812	634:07:51
		tty13	560	364:03:34
		tty14	126	83:51:39
回線別合計	11,257	13497:00:42		
宇治	アナログ	tty01	4,671	1574:32:26
		tty02	1,561	423:43:01
		tty03	532	61:03:46
		回線別合計	6,764	2059:19:13
宇治	デジタル	tty04	7	1:55:04
		tty05	1	0:27:04
		回線別合計	8	2:22:08

## KUINS 会議日誌

平成8年3月1日～平成8年8月31日

### 学術情報システム整備委員会

平成8年3月14日（第19回）

- ・超高速ネットワークシステムについて
- ・今後の KUINS の整備計画について
- ・WWWサーバおよびマルチメディア・メールシステムについて
- ・エネルギー科学研究科新設に伴う委員について
- ・委員長の交代について
- ・光ファイバーの利用について（報告）
- ・京都大学高度情報化フォーラムの開催について（報告）

### 学術情報システム整備委員会技術専門委員会

平成8年6月27日（第27回）

- ・超高速ネットワークの設置および運用について
- ・吉田・宇治・熊取地区のデジタルPBXのISDN接続について
- ・第4回高度情報化フォーラムについて（報告）

### 学術情報ネットワーク機構運営会議

平成8年3月15日（第8回）

- ・平成7年度補正予算によるネットワークの整備について
- ・平成9年度歳出概算要求について
- ・平成7年度学術情報ネットワーク機構経費決算について
- ・平成8年度学術情報ネットワーク機構経費予算について
- ・学術情報ネットワーク機構事務室の活動状況について
- ・ネットグループ連絡会議について
- ・WWWサーバおよびマルチメディア・メールシステムについて
- ・第4回京都大学高度情報化フォーラムについて

### 学術情報ネットワーク機構担当課長等連絡会議

平成8年3月12日（第2回）

- ・平成7年度補正予算によるネットワークの整備について
- ・ネットグループ連絡会議について

### KUINSネットグループ連絡会議

平成8年3月6日（第50回）

- ・基幹ループLANのノードの配置状況について
- ・平成7年度決算について
- ・平成8年度予算について
- ・ネットグループの組織について
- ・KUINS概算要求について
- ・ATM関連の進捗状況について

平成8年4月10日（第51回）

- ・基幹ループLANのノードの配置状況について
- ・吉田地区のルータのATM対応について
- ・KUINSバリアセグメントの構成変更について
- ・ATMの接続について

平成8年5月15日（第52回）

- ・基幹ループLANのノードの配置状況について
- ・ターミナルサーバの接続について
- ・KUINSバリアセグメントの構成変更について
- ・ATMのアドレスについて
- ・ATMネットワーク接続届けについて
- ・京大生協のKUINSへの接続について
- ・光ファイバーの貸借について

平成8年6月19日（第53回）

- ・基幹ループLANのノードの配置状況について
- ・ターミナルサーバの接続について
- ・KUINSフォーラムについて
- ・SINET接続について
- ・ATMネットワークについて
- ・WWWのホームページについて

平成8年7月17日（第54回）

- ・基幹ループLANのノードの配置状況について
- ・ターミナルサーバの接続について
- ・SINETの接続の変更について
- ・WWWサーバのWSの設置について

平成8年8月22日（第55回）

- ・基幹ループLANの障害発生報告について
- ・ATMネットワーク接続状況について
- ・KUINSニュースについて

## KUINS 関連メールアドレス一覧

- q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINSに関するあらゆる問い合わせ先
- staff@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINSのスタッフに用事がある時
- atm-tech@kuins.kyoto-u.ac.jp  
ATM（超高速ネットワークシステム）に関する問い合わせ先
- lan-trouble@kuins.kyoto-u.ac.jp  
基幹ループ関係のトラブルレポート先
- ws@kuins.kyoto-u.ac.jp  
ワークステーション接続届の提出先
- ws-request@kuins.kyoto-u.ac.jp  
ワークステーション接続届のフォーマット請求先
- kiss-admin@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS情報サービスシステムの管理者に用事がある時
- kiss-request@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS情報サービスシステムのパスワード請求先
- domain-admin@kuins.kyoto-u.ac.jp  
新たにサブドメインの申請をしたい場合
- ns-admin@kuins.kyoto-u.ac.jp  
ネームサーバ管理者に用事がある時
- ns-assoc@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS のネームサーバ管理者全体の集合
- ug@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS User's Group
- ug-request@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS User's Groupへ参加したい場合（学内のみ）
- appletalk@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS Appletalk User's Group
- appletalk-request@kuins.kyoto-u.ac.jp  
KUINS Appletalk User's Groupへ参加したい場合（学内のみ）